

**【表紙】**

【提出書類】	四半期報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第4項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成22年8月13日
【四半期会計期間】	第30期第3四半期（自平成21年10月1日至平成21年12月31日）
【会社名】	株式会社フォーバル
【英訳名】	FORVAL CORPORATION
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 中島 將典
【本店の所在の場所】	東京都渋谷区神宮前五丁目52番2号
【電話番号】	03（3498）1541（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部長 加藤 康二
【最寄りの連絡場所】	東京都江東区佐賀一丁目1番3号
【電話番号】	03（6826）8881
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部長 加藤 康二
【縦覧に供する場所】	株式会社大阪証券取引所 （大阪市中央区北浜一丁目8番16号）

## 1【四半期報告書の訂正報告書の提出理由】

当社元社員による過年度に渡る保険料の不正請求及び架空売上の計上が判明したため、当該内容につき調査した結果、売上・販売費及び一般管理費の過大計上が判明いたしましたので連結財務諸表の記載内容の見直しを行いました。

その結果、第30期第3四半期連結会計期間の四半期連結損益計算書においては、販売費及び一般管理費が771千円の減少となり税金等調整前四半期純利益が771千円増加し四半期純利益が771千円増加しました。四半期連結貸借対照表においては、その他流動資産が771千円増加しております。

これらを訂正するため、金融商品取引法第24条の4の7第4項の規定に基づき第30期第3四半期連結会計期間に係る四半期報告書の訂正報告書を提出するものであります。

四半期連結財務諸表の記載内容にかかる訂正箇所についてはX B R Lの修正も行いましたので、併せて修正後のX B R L形式のデータ一式（表示情報ファイル含む）を提出いたします。

なお、訂正後の第30期第3四半期連結会計期間及び第30期第3四半期連結累計期間につきましては、K D A監査法人により四半期レビューを受けており、その四半期レビュー報告書を添付しております。

## 2【訂正事項】

### 第一部 企業情報

#### 第1 企業の概況

##### 1 主要な経営指標等の推移

#### 第2 事業の状況

##### 4 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析

###### (1) 経営成績の分析

###### (2) 財政状態の分析

###### (3) キャッシュ・フローの状況

#### 第5 経理の状況

##### 2 監査証明について

##### 1 四半期連結財務諸表

###### (1) 四半期連結貸借対照表

###### (2) 四半期連結損益計算書

###### (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

##### 注記事項

（四半期連結損益計算書関係）

（セグメント情報）

（1株当たり情報）

## 3【訂正箇所】

訂正箇所は\_\_\_\_\_を付して表示しております。

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

(訂正前)

回次	第29期 第3四半期 連結累計期間	第30期 第3四半期 連結累計期間	第29期 第3四半期 連結会計期間	第30期 第3四半期 連結会計期間	第29期
会計期間	自平成20年 4月1日 至平成20年 12月31日	自平成21年 4月1日 至平成21年 12月31日	自平成20年 10月1日 至平成20年 12月31日	自平成21年 10月1日 至平成21年 12月31日	自平成20年 4月1日 至平成21年 3月31日
売上高(百万円)	25,640	23,484	8,035	7,434	34,358
経常利益又は経常損失( ) (百万円)	60	<u>172</u>	164	<u>19</u>	17
四半期純利益又は四半期(当期) 純損失( )(百万円)	414	<u>87</u>	418	<u>2</u>	1,879
純資産額(百万円)	-	-	5,877	<u>4,638</u>	4,496
総資産額(百万円)	-	-	15,621	<u>14,274</u>	15,246
1株当たり純資産額(円)	-	-	388.90	<u>306.09</u>	288.44
1株当たり四半期純利益金額又は 1株当たり四半期(当期)純損失 金額( )(円)	30.12	<u>6.33</u>	30.37	<u>0.17</u>	136.58
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-	-	-
自己資本比率(%)	-	-	34.3	<u>29.1</u>	26.0
営業活動によるキャッシュ・フ ロー(百万円)	911	641	-	-	1,188
投資活動によるキャッシュ・フ ロー(百万円)	36	61	-	-	163
財務活動によるキャッシュ・フ ロー(百万円)	683	574	-	-	847
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(百万円)	-	-	2,745	2,841	2,731
従業員数(人)	-	-	1,046	1,027	1,027

(後略)

(訂正後)

回次	第29期 第3四半期 連結累計期間	第30期 第3四半期 連結累計期間	第29期 第3四半期 連結会計期間	第30期 第3四半期 連結会計期間	第29期
会計期間	自平成20年 4月1日 至平成20年 12月31日	自平成21年 4月1日 至平成21年 12月31日	自平成20年 10月1日 至平成20年 12月31日	自平成21年 10月1日 至平成21年 12月31日	自平成20年 4月1日 至平成21年 3月31日
売上高(百万円)	25,640	23,484	8,035	7,434	34,358
経常利益又は経常損失( ) (百万円)	60	174	164	20	17
四半期純利益又は四半期(当期) 純損失( )(百万円)	414	67	418	3	1,879
純資産額(百万円)	-	-	5,877	4,618	4,496
総資産額(百万円)	-	-	15,621	14,265	15,246
1株当たり純資産額(円)	-	-	388.90	304.62	288.44
1株当たり四半期純利益金額又は 1株当たり四半期(当期)純損失 金額( )(円)	30.12	4.88	30.37	0.23	136.58
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-	-	-
自己資本比率(%)	-	-	34.3	29.0	26.0
営業活動によるキャッシュ・フ ロー(百万円)	911	641	-	-	1,188
投資活動によるキャッシュ・フ ロー(百万円)	36	61	-	-	163
財務活動によるキャッシュ・フ ロー(百万円)	683	574	-	-	847
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(百万円)	-	-	2,745	2,841	2,731
従業員数(人)	-	-	1,046	1,027	1,027

(後略)

## 第2【事業の状況】

### 4【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(訂正前)

#### (1) 経営成績の分析

(前略)

利益面では、減収等による利益の減少44百万円がありました。事務所や店舗の統廃合による地代家賃の削減や、業務の効率化による残業の抑制や子会社の整理などによる人件費の削減等により、販売費及び一般管理費が211百万円減少したことで、営業利益は31百万円（前年同四半期は134百万円の損失）、経常利益は19百万円（前年同四半期は164百万円の損失）、四半期純利益は2百万円（前年同四半期は418百万円の損失）となりました。

(後略)

#### (2) 財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ972百万円減少し14,274百万円となりました。流動資産は受取手形及び売掛金が減少したことを主因に前連結会計年度末に比べ1,075百万円減少しました。固定資産はのれんの償却等により無形固定資産が250百万円減少しましたが、時価上昇に伴う投資有価証券の増加を主因として投資その他の資産が399百万円増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ95百万円増加しました。

流動負債は支払手形及び買掛金や短期借入金が増加したことを主因に前連結会計年度末に比べ1,874百万円増加しました。固定負債は社債の発行を主因に前連結会計年度末に比べ759百万円増加しました。

また、純資産はその他有価証券評価差額金の増加等により、前連結会計年度末に比べ142百万円増加し4,638百万円となりました。

#### (3) キャッシュ・フローの状況

(前略)

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は170百万円（前年同四半期比6.6%減）でした。これは主に、税金等調整前四半期純利益61百万円、売上債権の減少額93百万円、たな卸資産の減少額70百万円に加え、資金支出のない費用である減価償却費93百万円、のれん償却額42百万円等があったことに対し、仕入債務の減少額268百万円等の支出があったためです。

(後略)

(訂正後)

(1) 経営成績の分析

(前略)

利益面では、減収等による利益の減少44百万円がありました。事務所や店舗の統廃合による地代家賃の削減や、業務の効率化による残業の抑制や子会社の整理などによる人件費の削減等により、販売費及び一般管理費が212百万円減少したことで、営業利益は32百万円(前年同四半期は134百万円の損失)、経常利益は20百万円(前年同四半期は164百万円の損失)、四半期純利益は3百万円(前年同四半期は418百万円の損失)となりました。

(後略)

(2) 財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ980百万円減少し14,265百万円となりました。流動資産は受取手形及び売掛金が減少したことを主因に前連結会計年度末に比べ1,084百万円減少しました。固定資産はのれんの償却等により無形固定資産が250百万円減少しましたが、時価上昇に伴う投資有価証券の増加を主因として投資その他の資産が399百万円増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ95百万円増加しました。

流動負債は支払手形及び買掛金や短期借入金が増加したことを主因に前連結会計年度末に比べ1,862百万円増加しました。固定負債は社債の発行を主因に前連結会計年度末に比べ759百万円増加しました。

また、純資産はその他有価証券評価差額金の増加等により、前連結会計年度末に比べ122百万円増加し4,618百万円となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

(前略)

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は170百万円(前年同四半期比6.6%減)でした。これは主に、税金等調整前四半期純利益62百万円、売上債権の減少額93百万円、たな卸資産の減少額70百万円に加え、資金支出のない費用である減価償却費93百万円、のれん償却額42百万円等があったことに対し、仕入債務の減少額268百万円等の支出があったためです。

(後略)

## 第5【経理の状況】

### 2. 監査証明について

(訂正前)

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、前第3四半期連結会計期間(平成20年10月1日から平成20年12月31日まで)及び前第3四半期連結累計期間(平成20年4月1日から平成20年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表については監査法人トーマツによる四半期レビューを受け、また、当第3四半期連結会計期間(平成21年10月1日から平成21年12月31日まで)及び当第3四半期連結累計期間(平成21年4月1日から平成21年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表についてはKDA監査法人による四半期レビューを受けております。

(訂正後)

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、前第3四半期連結会計期間(平成20年10月1日から平成20年12月31日まで)及び前第3四半期連結累計期間(平成20年4月1日から平成20年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表については監査法人トーマツによる四半期レビューを受け、また、当第3四半期連結会計期間(平成21年10月1日から平成21年12月31日まで)及び当第3四半期連結累計期間(平成21年4月1日から平成21年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表についてはKDA監査法人による四半期レビューを受けております。

なお、金融商品取引法第24条の4の7第4項の規定に基づき、当第3四半期連結会計期間(平成21年10月1日から平成21年12月31日まで)及び当第3四半期連結累計期間(平成21年4月1日から平成21年12月31日まで)に係る四半期報告書の訂正報告書を提出しておりますが、訂正後の四半期連結財務諸表について、KDA監査法人により四半期レビューを受けており、改めて四半期レビュー報告書を受領しております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(訂正前)

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	2,858,399	2,748,707
受取手形及び売掛金	3 3,716,756	4,632,882
商品及び製品	335,996	341,912
仕掛品	76,758	46,359
原材料及び貯蔵品	58,071	59,315
その他	1,200,603	1,613,383
貸倒引当金	78,852	198,965
流動資産合計	<u>8,167,733</u>	9,243,595
(中略)		
資産合計	<u>14,274,444</u>	15,246,544
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
支払手形及び買掛金	3,033,717	3,791,752
短期借入金	2 1,855,434	2 2,616,894
未払法人税等	31,496	92,756
役員賞与引当金	7,000	7,265
その他	1,864,318	2,157,761
流動負債合計	<u>6,791,967</u>	8,666,430
(中略)		
負債合計	<u>9,635,693</u>	10,750,503
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	4,150,294	4,150,294
資本剰余金	2,488,479	4,014,294
利益剰余金	<u>3,185,063</u>	4,625,965
自己株式	101,422	62,382
株主資本合計	<u>3,352,287</u>	3,476,241
(中略)		
純資産合計	<u>4,638,751</u>	4,496,041
負債純資産合計	<u>14,274,444</u>	15,246,544



(訂正後)

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,858,399	2,748,707
受取手形及び売掛金	3 3,707,256	4,632,882
商品及び製品	335,996	341,912
仕掛品	76,758	46,359
原材料及び貯蔵品	58,071	59,315
その他	1,201,603	1,613,383
貸倒引当金	78,852	198,965
流動資産合計	<u>8,159,233</u>	<u>9,243,595</u>
(中略)		
資産合計	<u>14,265,944</u>	<u>15,246,544</u>
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,033,717	3,791,752
短期借入金	2 1,855,434	2 2,616,894
未払法人税等	31,496	92,756
役員賞与引当金	7,000	7,265
その他	1,875,818	2,157,761
流動負債合計	<u>6,803,467</u>	<u>8,666,430</u>
(中略)		
負債合計	<u>9,647,193</u>	<u>10,750,503</u>
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,150,294	4,150,294
資本剰余金	2,488,479	4,014,294
利益剰余金	<u>3,205,063</u>	4,625,965
自己株式	101,422	62,382
株主資本合計	<u>3,332,287</u>	<u>3,476,241</u>
(中略)		
純資産合計	<u>4,618,751</u>	<u>4,496,041</u>
負債純資産合計	<u>14,265,944</u>	<u>15,246,544</u>

( 2 ) 【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

( 訂正前 )

( 単位 : 千円 )

	前第3四半期連結累計期間 ( 自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日 )	当第3四半期連結累計期間 ( 自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日 )
	( 前略 )	
販売費及び一般管理費	— 6,651,157	— 6,052,150
営業利益	7,391	199,602
	( 中略 )	
経常利益又は経常損失 ( )	60,284	172,115
	( 中略 )	
特別損失		
固定資産除売却損	28,905	6,579
投資有価証券売却損	-	15,895
投資有価証券評価損	258,022	26,814
貸倒引当金繰入額	161,500	-
減損損失	250,432	755
貸倒損失	-	2,093
その他	63,581	16,659
特別損失合計	762,442	68,798
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失 ( )	542,141	211,786
	( 中略 )	
四半期純利益又は四半期純損失 ( )	414,514	87,139

(訂正後)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
	(前略)	
販売費及び一般管理費	1,665,157	1,604,489
営業利益	7,391	202,263
	(中略)	
経常利益又は経常損失( )	60,284	174,776
	(中略)	
特別損失		
前期損益修正損	-	2,20,000
固定資産除売却損	28,905	6,579
投資有価証券売却損	-	15,895
投資有価証券評価損	258,022	26,814
貸倒引当金繰入額	161,500	-
減損損失	250,432	755
貸倒損失	-	2,093
過年度不正流用損失	-	2,2,660
その他	63,581	16,659
特別損失合計	762,442	91,459
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失( )	542,141	191,786
	(中略)	
四半期純利益又は四半期純損失( )	414,514	67,139

【第3四半期連結会計期間】  
(訂正前)

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)
	(前略)	
販売費及び一般管理費	2,189,420	<u>1,977,815</u>
営業利益又は営業損失( )	134,933	<u>31,845</u>
	(中略)	
経常利益又は経常損失( )	164,781	<u>19,280</u>
	(中略)	
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失( )	421,041	<u>61,481</u>
	(中略)	
四半期純利益又は四半期純損失( )	418,044	<u>2,362</u>

(訂正後)

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)
	(前略)	
販売費及び一般管理費	2,189,420	1,977,043
営業利益又は営業損失( )	134,933	32,617
	(中略)	
経常利益又は経常損失( )	164,781	20,052
	(中略)	
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失( )	421,041	62,253
	(中略)	
四半期純利益又は四半期純損失( )	418,044	3,134

( 3 ) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】  
( 訂正前 )

( 単位 : 千円 )

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失 ( )	542,141	<u>211,786</u>
減価償却費	375,945	278,765
のれん償却額	126,998	126,045
貸倒引当金の増減額 ( は減少 )	208,172	86,097
退職給付引当金の増減額 ( は減少 )	64,410	97,791
受取利息及び受取配当金	19,989	9,829
支払利息	41,881	31,394
持分法による投資損益 ( は益 )	7,237	20,567
持分変動損益 ( は益 )	-	4,444
投資有価証券売却損益 ( は益 )	78,078	73,173
固定資産除売却損益 ( は益 )	91,094	6,579
減損損失	250,432	755
投資有価証券評価損益 ( は益 )	258,022	26,814
売上債権の増減額 ( は増加 )	1,018,686	<u>882,775</u>
たな卸資産の増減額 ( は増加 )	48,693	34,759
仕入債務の増減額 ( は減少 )	971,734	757,704
その他	320,349	<u>15,557</u>
小計	1,017,793	701,708
利息及び配当金の受取額	18,917	9,100
利息の支払額	49,161	24,328
法人税等の支払額	75,986	44,506
営業活動によるキャッシュ・フロー ( 後略 )	911,563	641,974

(訂正後)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失( )	542,141	<u>191,786</u>
減価償却費	375,945	278,765
のれん償却額	126,998	126,045
貸倒引当金の増減額( は減少)	208,172	86,097
退職給付引当金の増減額( は減少)	64,410	97,791
受取利息及び受取配当金	19,989	9,829
支払利息	41,881	31,394
持分法による投資損益( は益)	7,237	20,567
持分変動損益( は益)	-	4,444
投資有価証券売却損益( は益)	78,078	73,173
固定資産除売却損益( は益)	91,094	6,579
減損損失	250,432	755
投資有価証券評価損益( は益)	258,022	26,814
売上債権の増減額( は増加)	1,018,686	<u>892,275</u>
たな卸資産の増減額( は増加)	48,693	34,759
仕入債務の増減額( は減少)	971,734	757,704
その他	320,349	<u>5,057</u>
小計	1,017,793	701,708
利息及び配当金の受取額	18,917	9,100
利息の支払額	49,161	24,328
法人税等の支払額	75,986	44,506
営業活動によるキャッシュ・フロー	911,563	641,974
(後略)		

【注記事項】

(四半期連結損益計算書関係)

(訂正前)

前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。	販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。
貸倒引当金繰入額 29,820千円	貸倒引当金繰入額 32,604千円
従業員給料及び手当 3,352,891千円	従業員給料及び手当 3,137,705千円
退職給付費用 252,979千円	退職給付費用 249,032千円
賃借料 568,435千円	賃借料 480,952千円

(後略)

(訂正後)

前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。	1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。
貸倒引当金繰入額 29,820千円	貸倒引当金繰入額 32,604千円
従業員給料及び手当 3,352,891千円	従業員給料及び手当 3,137,705千円
退職給付費用 252,979千円	退職給付費用 249,032千円
賃借料 568,435千円	賃借料 480,952千円
	2 前期損益修正損・過年度不正流用損失 当社元社員による過年度に渡る保険料の不正請求及び架空売上が判明したことに伴い、架空売上の金額20,000千円については、前期損益修正損で表示しております。保険料の不正請求については、平成16年3月31日終了連結会計年度から前連結会計年度までの各連結会計年度の連結財務諸表に対して、販売費及び一般管理費の振替の修正を必要とする影響が生じておりますが、その金額が僅少であるため、過年度不正流用損失2,660千円を第1四半期会計期間に一括計上しております。 なお、各連結会計年度における要訂正額の内訳は以下のとおりであります。
	過年度販売費及び一般管理費訂正額
	平成16年3月期 1,616千円
	平成17年3月期 5,580千円
	平成18年3月期 7,781千円
	平成19年3月期 6,071千円
	平成20年3月期 8,356千円
	平成21年3月期 10,361千円
	計 39,767千円
	過年度不正流用損失
	平成16年3月期 1,616千円
	平成17年3月期 5,580千円
	平成18年3月期 7,781千円
	平成19年3月期 8,196千円
	平成20年3月期 9,984千円
	平成21年3月期 9,268千円
	計 42,428千円



(セグメント情報)

【事業の種類別セグメント情報】

(訂正前)

(前略)

当第3四半期連結会計期間(自平成21年10月1日至平成21年12月31日)

	機器関連事業 (千円)	ネットワーク 関連事業 (千円)	計(千円)	消去又は全社 (千円)	連結(千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	2,198,505	5,235,891	7,434,397	-	7,434,397
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	13,333	24,332	37,665	(37,665)	-
計	2,211,838	5,260,224	7,472,062	(37,665)	7,434,397
営業利益又は営業損失( )	<u>2,841</u>	<u>34,687</u>	<u>31,845</u>	-	<u>31,845</u>

(中略)

当第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日)

	機器関連事業 (千円)	ネットワーク 関連事業 (千円)	計(千円)	消去又は全社 (千円)	連結(千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	6,773,216	16,711,642	23,484,858	-	23,484,858
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	42,969	58,185	101,154	(101,154)	-
計	6,816,186	16,769,827	23,586,013	(101,154)	23,484,858
営業利益	<u>63,987</u>	<u>135,615</u>	<u>199,602</u>	-	<u>199,602</u>

(後略)

(訂正後)

(前略)

当第3四半期連結会計期間(自平成21年10月1日至平成21年12月31日)

	機器関連事業 (千円)	ネットワーク 関連事業 (千円)	計(千円)	消去又は全社 (千円)	連結(千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	2,198,505	5,235,891	7,434,397	-	7,434,397
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	13,333	24,332	37,665	(37,665)	-
計	2,211,838	5,260,224	7,472,062	(37,665)	7,434,397
営業利益又は営業損失( )	<u>2,286</u>	<u>34,904</u>	<u>32,617</u>	-	<u>32,617</u>

(中略)

当第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日)

	機器関連事業 (千円)	ネットワーク 関連事業 (千円)	計(千円)	消去又は全社 (千円)	連結(千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	6,773,216	16,711,642	23,484,858	-	23,484,858
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	42,969	58,185	101,154	(101,154)	-
計	6,816,186	16,769,827	23,586,013	(101,154)	23,484,858
営業利益	<u>65,873</u>	<u>136,389</u>	<u>202,263</u>	-	<u>202,263</u>

(後略)

( 1 株当たり情報 )  
( 訂正前 )

1 . 1 株当たり純資産額

当第 3 四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末 (平成21年 3 月31日)
1 株当たり純資産額 306.09円	1 株当たり純資産額 288.44円

2 . 1 株当たり四半期純利益金額又は 1 株当たり四半期純損失金額 ( )

前第 3 四半期連結累計期間 (自平成20年 4 月 1 日 至平成20年12月31日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自平成21年 4 月 1 日 至平成21年12月31日)
1 株当たり四半期純損失金額 ( ) 30.12円	1 株当たり四半期純利益金額 6.33円
潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額については、 1 株当たり四半期純損失が計上されているため記載して おりません。	潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額については、 希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載し ておりません。

(注) 1 株当たり四半期純利益金額又は 1 株当たり四半期純損失金額 ( ) の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第 3 四半期連結累計期間 (自平成20年 4 月 1 日 至平成20年12月31日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自平成21年 4 月 1 日 至平成21年12月31日)
1 株当たり四半期純利益金額又は 1 株当たり四半期 純損失金額 ( )		
四半期純利益又は四半期純損失 ( ) (千円)	414,514	87,139
普通株主に帰属しない金額 (千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益又は四半期純損失 ( ) (千円)	414,514	87,139
期中平均株式数 (千株)	13,764	13,761
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後 1 株当 たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株 式で、前連結会計年度末から重要な変動があったも のの概要		

前第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)
1株当たり四半期純損失金額( ) 30.37円	1株当たり四半期純利益金額 0.17円
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失が計上されているため記載していません。	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載していません。

(注) 1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額( )の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額( )		
四半期純利益又は四半期純損失( )(千円)	418,044	2,362
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益又は四半期純損失( )(千円)	418,044	2,362
期中平均株式数(千株)	13,764	13,754
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要		

(訂正後)

1. 1株当たり純資産額

当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末 (平成21年3月31日)
1株当たり純資産額 304.62円	1株当たり純資産額 288.44円

2. 1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額( )

前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
1株当たり四半期純損失金額( ) 30.12円	1株当たり四半期純利益金額 4.88円
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失が計上されているため記載しておりません。	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(注) 1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額( )の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額( )		
四半期純利益又は四半期純損失( )(千円)	414,514	67,139
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益又は四半期純損失( )(千円)	414,514	67,139
期中平均株式数(千株)	13,764	13,761
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要		

前第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)
1株当たり四半期純損失金額( ) 30.37円	1株当たり四半期純利益金額 0.23円
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失が計上されているため記載していません。	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載していません。

(注) 1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額( )の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額( )		
四半期純利益又は四半期純損失( )(千円)	418,044	3,134
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益又は四半期純損失( )(千円)	418,044	3,134
期中平均株式数(千株)	13,764	13,754
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要		

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成22年 8月13日

株式会社フォーバル  
取締役会 御中

K D A 監査法人

指定社員 公認会計士 関本 享 印  
業務執行社員

指定社員 公認会計士 毛利 優 印  
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社フォーバルの平成21年4月1日から平成22年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成21年10月1日から平成21年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成21年4月1日から平成21年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析の手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社フォーバル及び連結子会社の平成21年12月31日現在の財政状態、同日をもって終了する第3四半期連結会計期間及び第3四半期連結累計期間の経営成績並びに第3四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 追記情報

四半期報告書の訂正報告書の「第5 経理の状況 2. 監査証明について」に記載されているとおり、会社は金融商品取引法第24条の4の7第4項の規定に基づき四半期連結財務諸表を訂正している。当監査法人は訂正後の四半期連結財務諸表について四半期レビューを行った。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはX B R L データ自体は含まれていません。